

中学生用 ライフプランニング学習副読本「考えようふるさと秋田とわたしの未来」

活用状況調査集計結果（令和7年度）

調査対象：県内中学校 102校（国立大学法人立：1校、県立：3校、市町村立：98校）
 県内義務教育学校・後期課程 3校（市町立：3校） ※分校を含む。

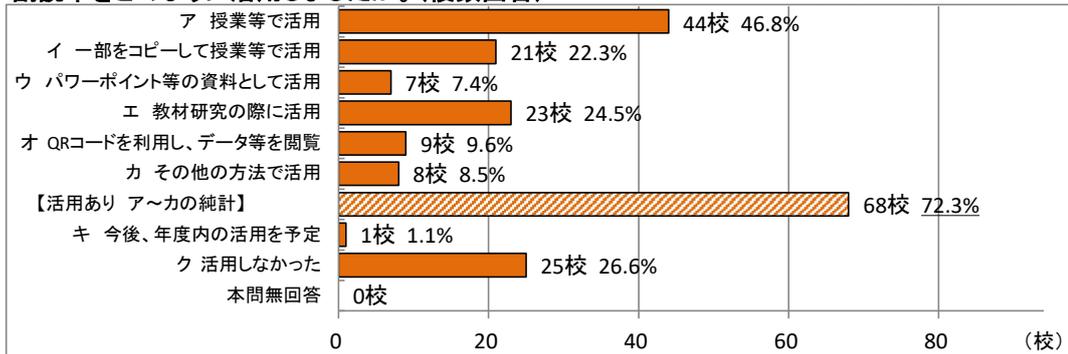
※義務教育学校については、便宜上、おおむね後期課程における中学生用副読本の活用状況をこの票に、おおむね前期課程における小学生用副読本の活用状況を小学生用の集計結果の票に合算して集計しています。
 そのため、義務教育学校3校分が小学生用・中学生用の集計結果にそれぞれ計上されています。

◎回答率 89.5%（回答94校／対象105校）

◎活用率 72.3%（活用68校／回答94校）（ほか年度内活用予定1校）

問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※調査への回答があった94校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

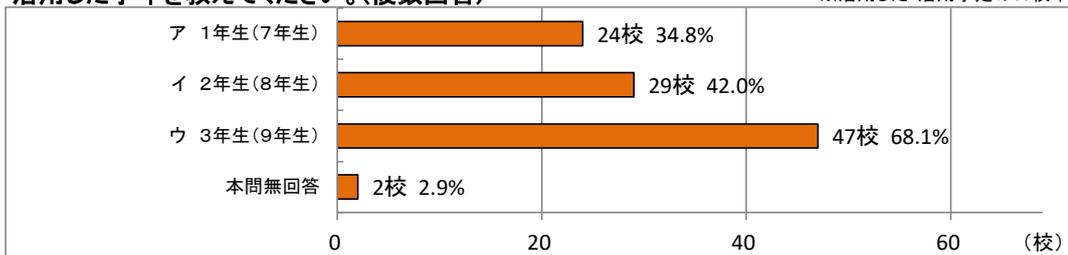
- ・学活の時間に紹介し、個々に読ませることにした。
- ・生徒に配付し、総合的な学習の時間に活用できるようにした。
- ・生徒に配付した。

活用状況「ク 活用しなかった」の主な理由

- ・キャリアノートや、学校、市町村で作成した類似、同趣旨の資料を使用した。
- ・限られた授業時数の中で、活用する時間を確保することが困難。
- ・指導計画に余裕がない。昨年度のうちに各教科や領域の年間指導計画が定まっていた。
- ・他教科等で類似の内容を学習している。
- ・学習内容に結び付ける機会を逸してしまった。

問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

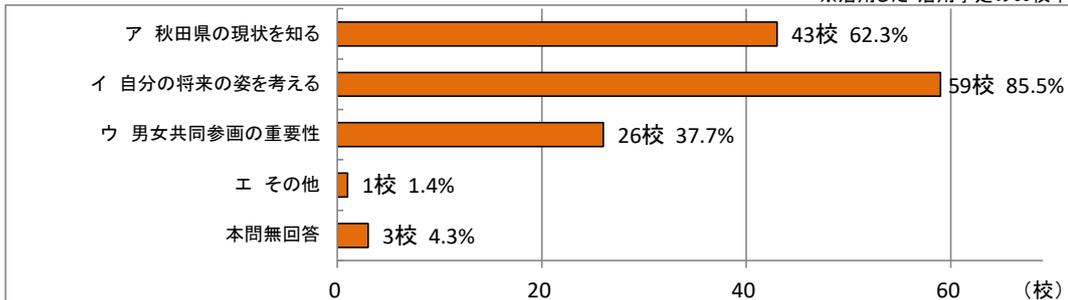
※活用した・活用予定の69校中



※()内は、義務教育学校における学年

問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、次のどの分野ですか。（複数回答）

※活用した・活用予定の69校中

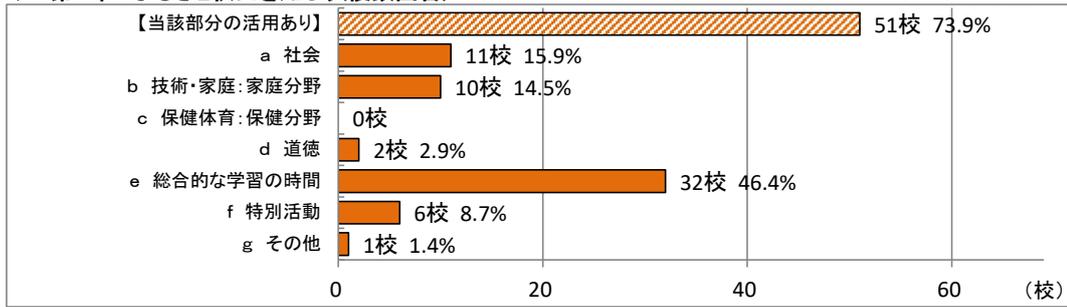


学びのねらいの分野「エ その他」の具体的分野の回答なし

問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ふるさと秋田を知ろう(複数回答)

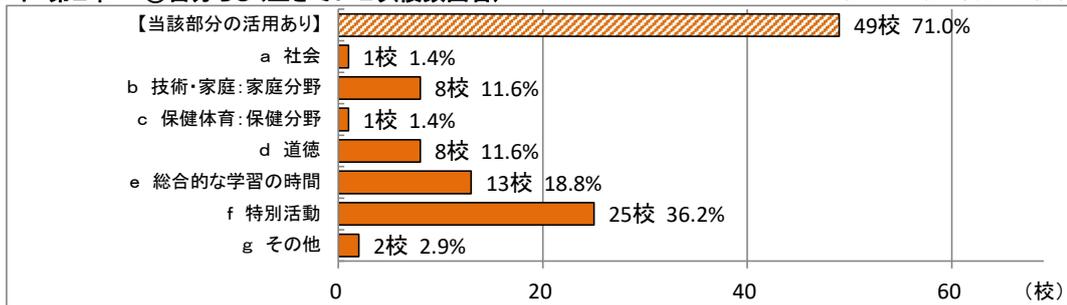
※活用した・活用予定の69校中



活用場面「g その他」の主な回答
・教育課程に位置付けていない。(問4イ～カにおいて同じ。)

イ 第2章 ①自分らしく生きていこう(複数回答)

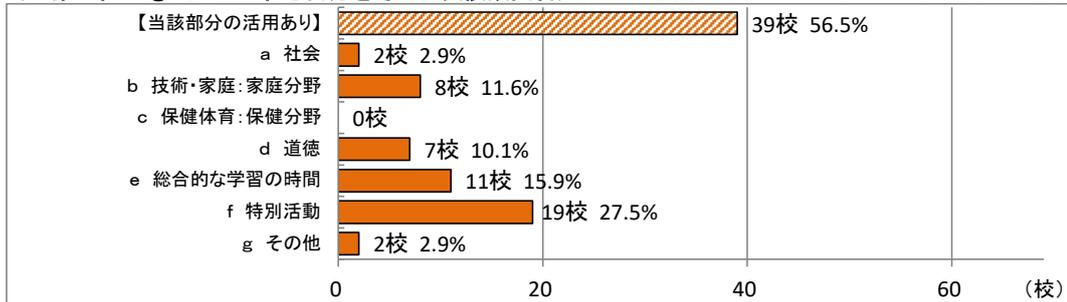
※活用した・活用予定の69校中



活用場面「g その他」の主な回答
・進路選択(問4ウ・エにおいて同じ。)

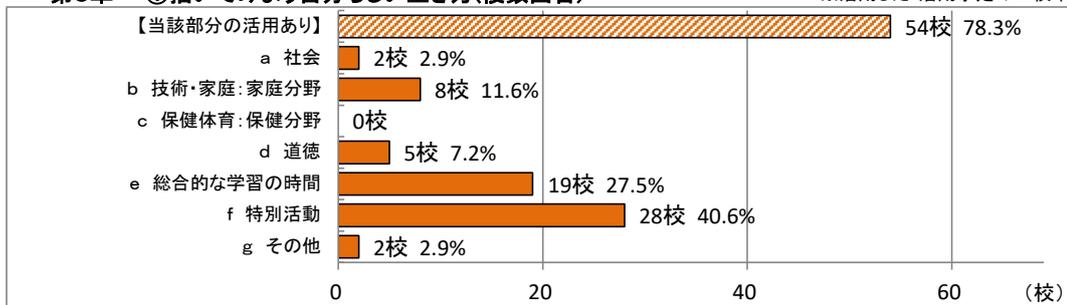
ウ 第2章 ②人とかかわる自分を考えよう(複数回答)

※活用した・活用予定の69校中



エ 第3章 ①描いてみよう自分らしい生き方(複数回答)

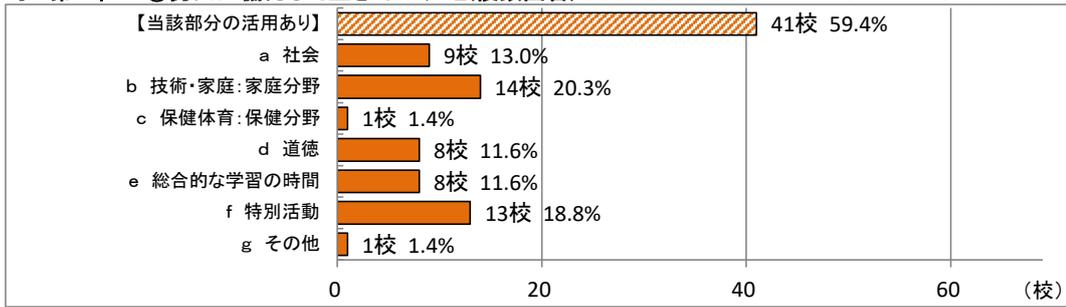
※活用した・活用予定の69校中



(続き:問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。)

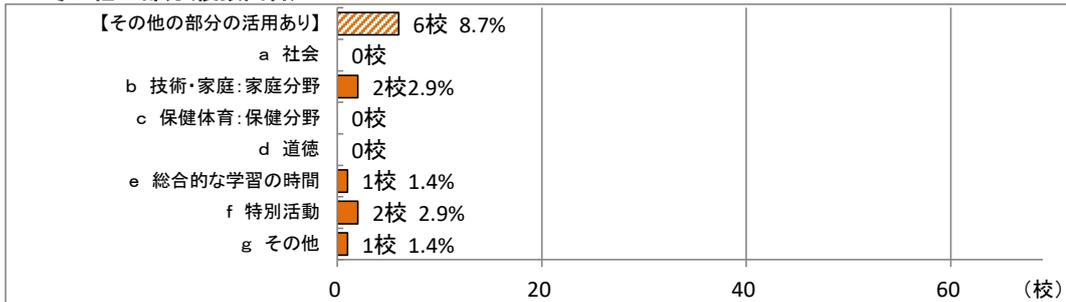
オ 第3章 ②男女が協力して生きていくこと(複数回答)

※活用した・活用予定の69校中



カ その他の部分(複数回答)

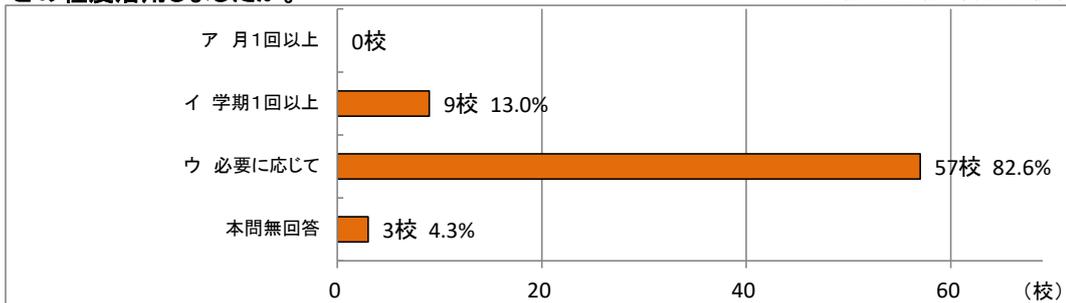
※活用した・活用予定の69校中



活用した「その他の部分」の具体的部分の回答なし

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した・活用予定の69校中



「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答9校中

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度	2校	3校
一学期当たり2回程度	1校	1校
一学期当たり3回程度・それ以上	2校	

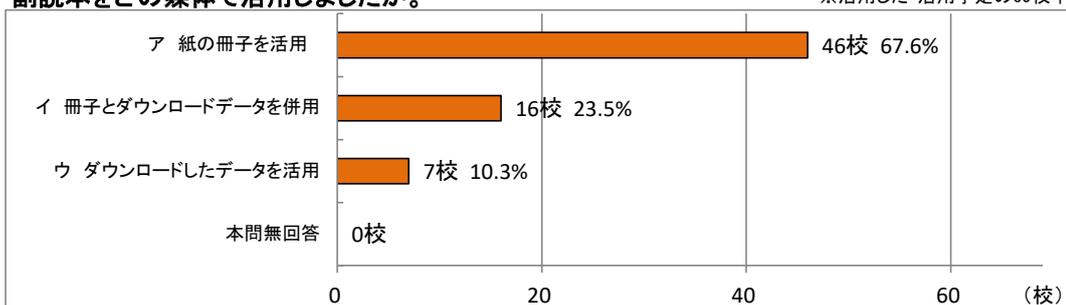
「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答56校中(年間回数無回答1校を除外)

活用頻度	校数
年間1回程度	18校
年間2回程度	14校
年間3回程度	13校
年間4回程度・それ以上	11校

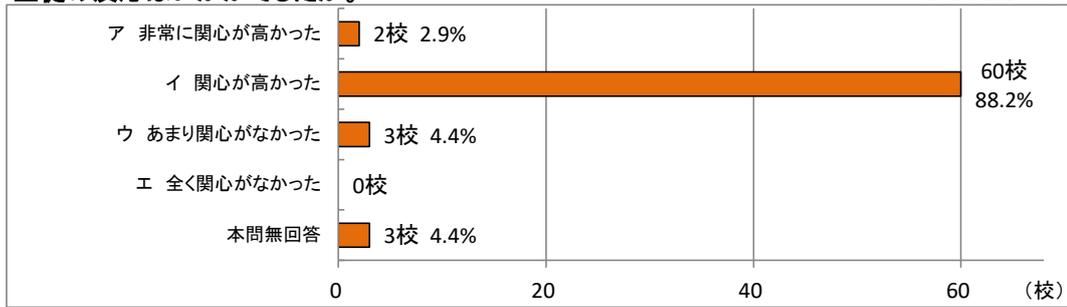
問6 副読本をどの媒体で活用しましたか。

※活用した・活用予定の69校中



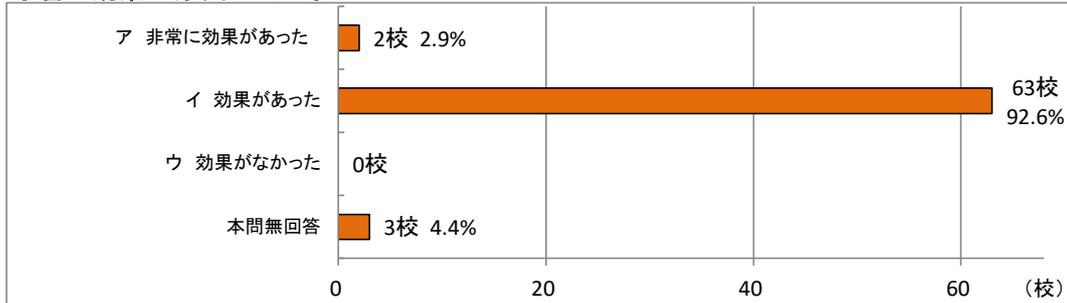
問7 生徒の反応はいかがでしたか。

※活用した68校中



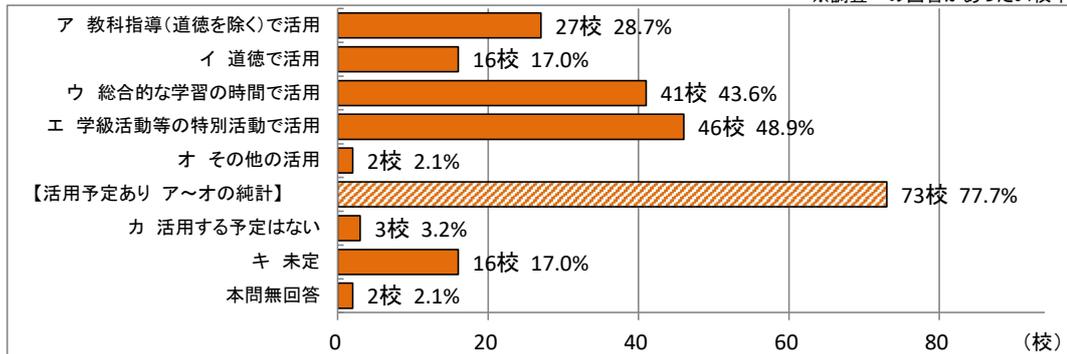
問8 学習の効果はありましたか。

※活用した68校中



問9 令和8年度は、副読本をどのように活用する予定(活用したい)ですか。(複数回答)

※調査への回答があった94校中



活用方法「オ その他の活用」の主な回答
・進路選択や自己理解等の場面で活用したい。

問10 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問10 副読本の内容等についての感想、意見等(中学校・R7)」を参照

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（中学校・R7）

主に副読本の内容に関する感想、意見等
資料が豊富で大変素晴らしい内容なので、積極的に活用できるように促していきたい。
副読本の内容は充実していると思います。ただ、「キャリアノート」や教科の資料集等と内容が重なる部分があると捉えています。
ワークシートや資料が充実していると感じました。引き続きよろしく願いいたします。
生徒にも理解しやすい具体的な事例やイラストを用いて、多様性の価値・差別やいじめの問題・ハラスメントの理解を丁寧に説明しており、教材として教科横断的に、授業の内容に関連付けて活用できると感じています。
資料が豊富で、様々な活用を工夫できそうだと感じています。
秋田県の出生数、人口の減少等のデータ関係の資料は、最新のものに更新していただいているので、今後もお願いしたいです。
他の資料等と重なる部分がある。
秋田県の現状の理解ができた。また、将来の自分を思い描くことができた。
大変興味深い内容で、今年度は1年生の家庭科の授業で活用しました。本来は、3年生で取り扱いたいと思っているのですが、授業の中で取り扱うことが難しい現状があります。
<ul style="list-style-type: none"> ・秋田県版ということで、データを通して秋田県の実情を知ることができてよい。 ・ワークシートのデータがあるため利用しやすい。 ・来年度も、授業等で有効活用したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・教員からは、「秋田県に現状や取組が分かる資料が分かりやすくてよい」「ワークシートが参考になった」という意見がありました。 ・本アンケートは、オンラインで実施していただけるとありがたいです。
副読本は大変見やすく、内容自体もよくまとまっていると感じています。
主に副読本の活用に関する感想、意見等
年度途中で活用を検討することはできなかったが、2年生の総合的な学習の時間で東京への修学旅行を通してふるさと秋田や将来の生き方について考える学習を予定しているので、その際の導入資料として活用できる内容だと感じている。
今年度については、活用がほとんどできませんでした。次年度は、活用方法についてももう少し吟味したいと思いません。
様々な情報があり、使用すれば有益だとは思いますが、年間を通じて進路学習の副読本を使用しており、使用機会はありませんでした。数時間程度のカリキュラムの例示がされていたり、指導事例等を添付していただけると、学級担任の先生方もより使用しやすくなると思います。
残念ながら、授業等で特に取り上げることができませんでした。授業にあまり余裕がない現状です。
学級活動で使用している副読本「中学校生活と進路」と併用したり、総合的な学習の時間で参考にしたりと、効果的に活用されるようになってきたと思われる。
進路学習や地域についての学習に有効だと感じました。
特別活動の学級活動で活用されている、「秋田県版『中学生生活と進路』」の内容と重なる部分があるので、併用する形で活用してみました。ワークシート等の様式も参考になったとのことでした。
教員間で共通理解を図り、有効な活用場面を探していきたい。
計画的に活用していけるように、内容を精査した上で、次年度の活用を検討していきたいと思いません。
生徒が副読本から主体的に求める内容を選択して、学びを深められるような場面の設定を上手に行い活用していきたいです。
時機を逸してしまったので、研究部で内容を精査して、授業で活用できる場면을模索していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・挙手アンケートの結果を見ると、生徒たちは男女共同参画社会に対して、大人が心配するほど不公平感をもっていないことが分かる。 ・総合的な学習では「□口市」について調べる生徒が多い。調査範囲を秋田県に広げる際はネットから必要とする情報を集めることが多い。 ・「自分らしさ」については、類似した他の資料を使っている学年、学級が多い。今はCANVA等から多種多様なワークシートを容易に得ることができる。

問10 副読本の内容等についての感想、意見等（中学校・R7）

（続き）主に副読本の活用に関する感想、意見等
<p>昨年度同様、道徳や特別活動で活用してきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、技術・家庭科、家庭分野の学習のまとめとして活用しました。 ・有意義な資料とワークシートでの構成で使いやすいのですが、あまり多くの時間かけられず、もったいなかったと感じています。 ・家族・家庭生活の内容で参考になるデータが多くありますので、工夫して使っていききたいと思います。
副読本の形態や配付に関する事項を含む感想、意見等
<p>秋田を知り、自分自身を見つめることで、ふるさと秋田を意識した進路について考えることのできる副読本となっており、3年間を通して活用できる副読本となっていると感じました。</p> <p>活用しやすくするためにも、できることなら冊子として配付していただけるとありがたいです。</p>
<p>ワークシートが、各種データでダウンロードできるようになっているので、活用しやすいと思います。</p>
<p>データのための配布でもいいかと思えます。</p>
<p>編集可能な電子データでの配布が可能であれば、各学校の実情に応じて加工して活用できるため、活用しやすくなるのではないのでしょうか。</p>
<p>ワークシートもダウンロードできるようになっており、とても良いです。</p>
<p>内容ではないが、紙媒体は必要と回答した学校にのみ送付してほしいです。（配布数が入学者数とあまりにもかけ離れているが、全校に配布するには数が足りないため。）</p>
<p>副読本をいただく時期としては、2～3月よりは、4月にいただきたいです。引継ぎのことを考えても、学年部の職員が総入れ替え（他校への転勤）になることもあり、元来年度末から新年度の引き継ぐ内容や種類が膨大であることを勘案しても、外部からの引継ぎ事案は、他にもあり新体制ができてからの4月以降にいただきたいです。</p>
<p>県や市から資料が出されるのはありがたい。</p>

※回答校が推測されないよう、自治体名を伏せ字にしています。